

# 感染症が疑われる患者における ECOG PS と qSOFA による 30 日死亡割合の予測に関する研究

## 1. 研究の対象

2018 年 1 月 28 日～2019 年 1 月 29 日に血液培養 2 セット以上を提出され、飯塚病院と白河厚生総合病院の総合診療科に感染症を疑われて入院された 65 歳以上の方。

## 2. 研究目的・方法

本研究は多施設共同研究に登録された感染症が疑われる患者さんを対象として行う過去起点コホート研究です。2018 年 1 月 28 日～2019 年 1 月 29 日に登録された患者さんにおける qSOFA 単独と qSOFA に ECOG PS を組み合わせたモデルの 30 日死亡予測精度を比較します。

qSOFA というのは quick Sequential Organ Failure Assessment の略で、感染症が疑われる患者さんの重症度を素早く評価するための簡便なスコアです。呼吸回数、血圧、意識状態から算出します。以前はガイドラインでも使用を推奨されていましたが、今は精度の問題から単独での使用は控えるように言われています。そこで他のスコアと組み合わせで精度が上げられないか研究することを検討しています。ECOG PS は Eastern Cooperative Oncology Group Performance Status の略で、癌患者さんの予後予測のために、日常の身体活動能力を簡便に評価するためのスコアです。全く症状がない状態を 0、全く動けず寝たきりの状態を 4 として、5 段階でスコアを付けます。このスコアは近年、癌患者さんだけでなく、肺炎や術後患者さんの死亡率を予測することにも利用されています。そこで本研究は、感染症が疑われる患者さんの予後予測精度が、qSOFA に ECOG PS と組み合わせることで上昇することを検証します。

飯塚病院のデータセンターから、完全に匿名化され、個人の同定が不可能な形で提供される登録時のデータを用いて解析を行います。

研究期間は倫理委員会承認日～2024 年 3 月 31 日となります。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、糖尿病、免疫抑制薬の使用、バイタルサイン、意識レベル、BMI
- 2) 血液検査結果：白血球数、CRP、菌血症の有無、血清ナトリウム値
- 3) 転機：30 日以内の死亡

対象患者さんが入院した際の年齢、性別、バイタルサイン、基礎疾患などの基本情報や、血液検査結果を個人が特定できない形に加工したのを用います。

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：

高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部臨床疫学講座 特任教授 佐田 憲映

TEL 088-888-2918

研究代表者：

高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部臨床疫学講座 大学院生 工藤 仁隆

TEL 088-888-2918